

くねつぷ

人の動き → 5,409 人 (- 3)

男 2,577 人 (- 4) / 女 2,832 人 (+ 1)

世帯数 2,091 世帯 (- 3)

12 月末日現在の住民基本台帳 カッコ内は前月対比



特 集

農業交流センター「くる・ネップ」

周辺整備が進む

幸町線の延長が完了 旧駅南北をつなぐ



玉葱振興会設立 50 周年㊦
「よい玉ねぎを作る心が産地を守る」

平成4年には、クリーン農業関連でフードプラン実験事業に減農薬玉ねぎが加わり、ポット式移植機も導入されました。平成7年には、新しい選果場が完成し、玉ねぎ生産や選別環境に好影響を与えるなど、平成に入っても「訓子府玉ねぎ」は、発展を続けています。

一方で、大雨による冠水・流出や降ひょう、干ばつ、暴風雪によるハウス被害など自然との戦いも激しくなりました。

玉葱振興会は、「食の安心・安全」の取り組みを進め、「安心できる産地」に向け「よい玉葱を作る心が産地を守る」という言葉を心に刻み、訓子府玉ねぎのさらなる繁栄への道を歩んでいます。



再

発

見

シリーズ

第 106 回

▼1月号のこの欄で、明るいニュースをお伝えできるようにと書きましたが、1月10日にさつそく届きました。訓子府小学校のスクーリングバンドが、全道リコーダーコンテストで、4年連続の全国大会出場を決めました。子どもたちの健闘に大きな拍手を。

▼2月2日には、「さむさむまつり」が開かれます。青年4団体や子どもたちが、寒さの中、一生懸命に雪像造りに励んできました。ぜひご来場ください。

▼インフルエンザが流行する季節です。うがいや手洗いの励行など、予防を徹底し、体調管理に十分配慮しましょう。



2014年（平成26年）2月号
 編集／訓子府町広報企画委員会
 発行／訓子府町
 〒099-1498 北海道常呂郡訓子府町東町398番地
 TEL 0157-47-2112 FAX 0157-47-2600

印刷／株北 海 印 刷

 訓子府町民憲章

1. 自然の恵みに感謝し、美しい町をつくります。
1. 元気に働き、豊かな町をつくります。
1. きまりを守り、明るい町をつくります。
1. たがいに助け合い、楽しい町をつくります。
1. 未来に希望をいだき、文化の町をつくります。

【昭和45年8月1日制定】

農業交流センター「くる・ネップ」

【Aゾーン=憩いの広場】

幸町線の西側を、緑を楽しむ空間にする計画です。

ゆったりとくつろげる空間を確保し、多くの樹種を配置し、四季を楽しむことができる緑の空間に位置づけます。

鉄道の歴史をしのぶことができるモニュメントなどの整備も予定しています。

【Bゾーン=にぎわい・交流の広場】

「くる・ネップ」北側の幸町線東側から銀河農園までのエリアを、子どもたちや家族連れなどが遊び、多くの町民の方が気軽に心地良く過ごすことができる空間にする予定です。

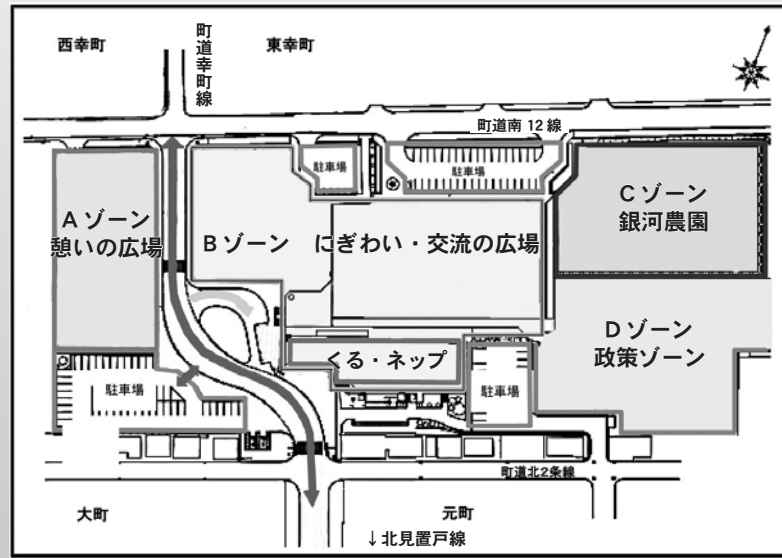
また、ホームも含めて、さまざまなイベントができる施設環境整備も行います。

【Cゾーン=銀河農園】

現行の銀河農園を継続し、農村の町らしく、農作物の栽培を楽しむ場とします。

【Dゾーン=政策ゾーン】

将来の周辺整備に備え、当面は美観を損ねないように維持管理を行っていきます。このゾーンには、ドクターヘリ用のヘリポートを整備する計画です。



周辺整備が進む 旧幸町線南北をつなぐ

旧幸町線南北をつなぐ

旧ふるさと銀河線訓子府駅舎を含む「農業交流センターくる・ネップ」の西側に、中心街を南北に縦断する幸町線が、昨年12月20日に開通しました。平成26年度には、銀河公園など旧駅北側の周辺整備を行う予定です。

平成18年のふるさと銀河線廃線以降、「くる・ネップ」周辺の整備について地域の要望なども踏まえ、検討してきました。

町では、平成24年度に「くる・ネップ」周辺環境整備マスタープラン「心地よさ・にぎわい・ふれあい・懐かしさを感じる空間」を策定し、平成25年度と26年度の2か年で整備を進めています。

第1弾として幸町線の延長工事が完了、開通しました。旧駅北の住宅街を通る幸町線（延長300m）をさらに延長し、南12線から銀河公園を通り、旧駅前の北2条線までの140mを整備して南北をつなぎ、「くる・ネップ」と幸町線との間にバスロータリーを設けました。

また、駐車場も拡張し、従来より8台分増えて48台の駐車が可能となりました。

26年度は公園の整備など予定

平成26年度は、「くる・ネップ」北側の幸町線を挟む東西のエリアを四つのゾーンに分けて整備します。

幸町線の開通で、市街地南北の一体化を図り、平成26年度の整備で「くる・ネップ」を中心とした市街地のにぎわい創出をめざしています。

